

共同生活援助事業所の申請調書

(法人名: ユースタイルラボラトリー株式会社 事業所名: ユースタイルホーム西東京)

法人概要	1	法人が運営する障害福祉サービス等事業(当該GH以外)	[事業所名称、事業所所在地、サービス種類、指定年月日] ・土屋訪問介護事業所 東京 中野区中央1-35-6 レッチフィールド中野坂上ビル3F 居宅介護及び重度訪問介護、2014年6月1日～ ・グループホーム土屋高座渋谷 神奈川県大和市渋谷5-19-8 共同生活援助(介護サービス包括型)、2023年1月1日～ など、全国で多数の事業所を運営中
事業所基本情報	2	各住居名称、所在地、定員	①ユースタイルホーム西東京A-1(住所:西東京市西原町3-8-3-1階)定員10人 ②ユースタイルホーム西東京A-2(住所:西東京市西原町3-8-3-2階)定員10人
	3	短期入所を実施する住居	住居名ユースタイルホーム西東京A-1(1床)併設型 住居名ユースタイルホーム西東京A-2(1床)併設型 計2床
	4	主たる対象者 ※特定する場合はその理由書を添付	身体障害者・知的障害者・精神障害者・難病等対象者
	5	当該共同生活援助事業の指定申請に至った経緯、目的等 ※日中サービス支援型の場合は、特に当該型での申請を行うに至った経緯、目的等を記入	当社はこれまで、主として重度障害者の在宅支援を実施してきた。しかし、病院や施設、あるいは在宅であっても高齢となった親の介助に依存しており、今後を見据えて自立していかなければならない重度障害者がいまだ多く存在している。 このような課題を踏まえ、障害福祉のニーズにより幅広く応えていくことを目的として、共同生活援助(日中サービス支援型)を運営していくこととした。
運営・支援について	6	支援の基本方針	利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行う。
	7	日中の支援方法 (日中をGHで過ごす利用者に対して、どのような支援を行うのか) ※日中サービス支援型のみ	○方針 利用者にGHの生活になれていただくため、ご本人のルーティンを施設側が適切に把握する。 日中施設内にて支援を行う。好きなことを見つけ、リズムを整える。 ○食事提供 ご自分で食べることができる。隣の人のものを取ってしまうことがあるので、隣と距離をとる必要がある。 ○健康管理 毎日バイタルチェック ○金銭管理 小遣い帳による管理を行う。 ○服薬管理 服薬確認のダブルチェック。薬局に依頼し氏名・日付記入して頂く。 ○入浴支援 洗い残しがあるので、必ず介助、支援が必要。 ○排せつ支援 排せつはご自分でできるが、トイレペーパーを大量に流しトイレをつまらせてしまうことがあるため、声かけをするなどして様子を伺う。 ○GH内のルールを理解してもらうための支援 本人のルーティンを整える際に、GHルールを入れる。 ○GHで勤める余暇活動 毎日の散歩、体操など体を動かす活動を取り入れていく。
	8	地域との交流方法	地域住民との交流の機会を確保する工夫等について、1つ以上記載してください。 ・町内の団地で開催される夏祭りに参加する予定。他市内のイベントは適宜利用者に発信し参加を促す。
	9	各住居における家庭的雰囲気確保するための取組み ※特に、同一敷地内等に近接して共同生活住居を複数設置する場合は、集団生活ではなく、個々に家庭的な雰囲気のもと日常生活が送れるよう配慮を行うこと。	利用者と家族との交流を積極的に促進し、居室内や共同スペースにおいてそれぞれの特性に合った交流ができるよう、職員が支援していく。 共同スペースには大型テレビを配置し、利用者同士が相互にコミュニケーションをとりながら関係構築ができるような場を提供する。
	10	モニタリングの実施方法(他法人が運営する指定計画相談支援に依頼する等)	職員が定期的にサービスの提供状況のモニタリングをし、評価をするともに計画の見直しをする。

	11 従業者についての資格取得状況や実務経験について	<p>①管理者について、共同生活援助の提供にあたり必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容・期間、また研修等の受講経験について具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置予定の者は、弊社居宅介護・重度訪問介護事業所にて、介護職員、サービス提供責任者の経験が10年ある。 ・介護福祉士実務者研修(2018年4月修了) <p>②サービス管理責任者について、共同生活援助の提供にあたり必要な知識または経験として、障害福祉分野での経験やその従事内容・期間、また研修等の受講経験について具体的に記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置予定の者は、介護職員を主に、サービス管理責任者なども含め、11年の経験がある。 ・介護福祉士(2019年4月) <p>③従業者(世話人・生活支援員)について、障害者の日常生活支援等を行える経歴及び実績または資格要件について記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従事経験や資格は問わない。
運営・支援について	12 障害福祉関連事業における経験がない従業者に対する対応	<p>入社後から全職員を対象に順次座学研修を実施する。</p> <p><外部研修の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修名 →強度行動障害支援者養成研修 ・実施団体 →未定 ・研修科目(詳細に項目及び内容を記載する) →指定研修事業のカリキュラムに従う ・研修資料はどのようなものを使用するのか(研修資料があれば提出) →実施団体に従う ・各項目の所要時間 →指定研修事業のカリキュラムに従う <p><内部研修の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士等有資格者が研修を実施 ・研修科目(詳細に項目及び内容を記載する) <ol style="list-style-type: none"> 1. 虐待防止・身体拘束に係る研修 2. 感染症予防に係る研修 3. 防火・防災に係る研修 4. ハラスメント研修 5. コンプライアンス研修 6. 自閉症・強度行動障害に係る研修 7. 事故発生時・緊急時の対応に係る研修 8. 苦情・接遇に関する研修 ・研修資料 重度訪問介護の研修で使用しているもの、またはそれと同等のものを利用する。 <p>資料については社内の各委員会や専門部署が監修に関わっており、動画として製作された資料を利用する予定。</p> <p>研修動画視聴後は当該研修項目について管理者やサービス管理責任者、あるいは実務経験の豊富な有資格者等が中心となってグループワーク等を行い、従業員の関心を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技研修も実施予定 <p>管理者やサービス管理責任者、あるいは実務経験の豊富な有資格者等が中心となって、下記の実技項目について、身体障害者や知的障害者等を想定したロールプレイ方式による演習を行う。適切な人材が確保できない場合は自社が運営するユースタイルカレッジより介護福祉士実務者研修の講師を招き演習を行う。</p> <p>(演習例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 移乗・移動 調理・配下膳 排泄介助(トイレ) 排泄介助(おむつ) 入浴介助 心肺蘇生 体位交換 更衣介助 避難訓練等
	13 従業者の確保策(夜間も含めた人材の確保)・離職防止のための取組み	<p>○職員募集の方法 (管理者) 社内人事異動により確定済み。当日同行。</p> <p>(サービス管理責任者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LINEバイト、e介護転職、マイナビバイト等 ・知り合いへの声掛け ・確定状況・時期(開設準備期と開始時期) →2月中旬を目途に確定させる。 <p>(世話人)、(生活支援員)、(夜間支援従事者:専従)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インディード等 ・知り合いへの声掛け <p>離職防止については、人員配置基準を遵守しつつ、シフトに柔軟性をもたせ、働きやすさを確保するようにしている</p>

利用者について	14	利用者の重度化・高齢化に対応するための従業者の質の確保のための取組み ※日中サービス支援型のみ	世話人、生活支援員等の従業者の資質向上のため研修(この規程に定められた必要な研修を含む。)の機会を次のとおり設けるものとし、また、勤務体制を整備します。 (1)採用時研修採用後1か月以内 (2)継続研修年4回以上	
	15	利用者の健康管理方法 (医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)	医療法人AGLI EMED AGREE CLINIC あさか(埼玉県朝霞市膝折町四丁目17番44)と連携の協定を締結予定 また、看護師の配置を検討しており、利用者の健康管理を行う予定	
	16	食事について (栄養士の有無、食事の提供方法等)	世話人等が、栄養バランスを考え、食材を選定するとともに調理を行う。	
	17	その他運営の特色や工夫等	(設備面での障害特性等への配慮) バリアフリーの設備や、車いす対応トイレなどを用意する。 (運営面での特色等) 利用者様に対して密度の高いアセスメントを行い、本人とご家族の希望を踏まえたサービス計画を作成する。	
	18	利用者の推定障害支援区分	区分6:6人、区分5:6人、区分4:6人 区分3:2人	
	19	利用者の想定年齢	幅広い年齢を想定	
	20	予定する利用者の障害特性等 (医療的ケアの必要性や、強度行動障害のある利用者の人数等)	特に医療的ケアの必要な重度障害者について積極的な受け入れを行う予定	
	21	利用者の状況(予定)	(現利用者)※型変更の場合のみ 通所する利用者人 住居内で日中を過ごす利用者人 (利用予定者) 通所する利用者人 0名 住居内で日中を過ごす利用者人 20名を想定。今後募集予定	
	22	空室がある場合(新設等含む)の入居募集方法や申込状況	利用者募集の方法 ・GH開設のお知らせ及び募集を行う機関・施設などを記載 西東京市障害福祉課、 障害者総合支援センター「フレンドリー」、 基幹相談支援センター「えぼっく」、 地域活動支援センター「保谷障害者福祉センター」、「ハーモニー」、「ブルーム」 社会福祉協議会 内覧会のチラシを作成し、近隣地域に対し開所のご挨拶を行う。 希望者には施設を見学頂き、入居者様のご紹介をいただく。	
	その他	23	特記事項	